

7月28日(水) 施設内研修会

テーマ：＜高齢者虐待を防ぐための基礎知識と施設づくり＞

今回の研修会は、Aさんより有料老人ホーム集団指導でも取り上げられている高齢者虐待についてと、こがねむし理念についてのお話がありました。



○高齢者虐待とは（主な種別）…

- 「**身体的虐待**」 暴力的行為により身体にアザ、痛みを与える行為や外部との接触を意図的、継続的に遮断
- 「**心理的虐待**」 脅しや屈辱などの言葉や態度、無視、嫌がらせ等により精神的に苦痛を与える
- 「**性的虐待**」 本人が同意していない、性的な行為やその強要
- 「**経済的虐待**」 本人の合意なしに財産や金銭を使用し、本人が希望する金銭の使用を理由なく制限すること
- 「**介護・世話の放棄・放任**」 必要な介護サービスの利用を妨げる、世話をしない等により、高齢者の生活環境や身体的・精神的状態を悪化させること などがあります。

※日頃、ご利用者様に接している時の対応は大丈夫ですか…？利用者様の尊厳を無視した「**不適切なケア**」になっている可能性はないですか…？

○不適切ケア事例…ご自身で着脱ができる利用者にもかかわらず、時間がかかりすぎるという理由で全介助する。

・利用者様の呼び出しや要望に対して「ちょっと待って」と長い時間放置。・「〇〇したらダメ！」など命令口調で行動を抑制する。

・トイレに行きたいと頻りに言う利用者様に「さっきも行ったよね」と言って対応を後回しなど。様々な事例があります。

人手不足の状況下でのやむを得ない対応であったり、事故防止のためについ強い口調になってしまう場合があるかもしれません。しかし、それは利用者様の尊厳を無視した「不適切なケア」となっていることを理解しておく必要があります。理解していないと→ケアの質が下がりエスカレート→虐待へとつながります。

○不適切ケアの背景には…**ケアの質・組織運営・チームアプローチ・論理観・ストレス**が考えられます。



○高齢者虐待のない施設であり続けるために

【尊厳保持】 【人格尊重】 【権利擁護】
の意識をしっかりと理解しましょう。

- *職員一人ひとりの意識改善が大切（節度を持った対応を）
- *要因となる環境や仕組みそのものの改善が必要
- *それぞれの立場を思いやり気にかけて助け合う職場作り

※事例を共有し、同じようなことを繰り返さないように徹底しましょう。不適切ケアと思ったら、上司・管理者へ報告・相談をしましょう。速やかな対応が求められます。また、介助・介護側がストレスを抱えたままにして置くと虐待の要因へ繋がる為、心のケアも必要です。従業員一人ひとりが考え、共有しより良い施設を今後も築いていきましょう。ご協力をお願い致します。

○こがねむし理念

以和為貴

(和をもって貴しとなす)
聖徳太子



【現代語訳】 **和というものを何よりも大切にし、いさかいを起こさぬよう心がけよ。**人は仲間を集め群れをつくりたがり、人格者は少ない。だから君主や父親にしたがわなかったり、近隣の人ももうまくいかない。しかし、**上の者が和やかで下の者も素直ならば、議論で対立することがあっても、おのずから道理にかなない調和する。**そんな世の中になると何事も成就する。

「十七条の憲法」の中の一文です。**和の精神・話し合い・議論の大切さ/「和（調和）を尊重する大切さ」**を教えています。こがねむしでは、研修会やミーティングなど話し合いのできる環境です。ご利用者様のために何が一番大切なのか？また、従業員が一体となって取り組むにはどんな方法があるのか？など今後も話し合いを続けていきましょう☆研修会皆様、お疲れ様でした。自分の普段の行いを見直すきっかけにもなったのではないのでしょうか？暑い日が続きますが、感染症にも気を付け頑張ってください。